



マルヤック・ハンビヨキによる
レーナの肖像（水彩画、1997）

現代フィンランド文学の旗手 レーナ・クルーン

待望の邦訳 第4弾！

蜜蜂の館

群れの物語

末延弘子 訳

[2007年度 フィンランド政府外国人翻訳家賞受賞]

11月初旬
発売予定

〈存在すること〉の意味を 美しい言葉でつむぐ レーナ・クルーン最新作！

「わたし」がひそかに「蜜蜂の館」と名づけた古い邸。
1900年代の初めに建てられたこの建物は
かつて「心の病の診療所」として機能していた—
人間の心と身体、世界のなりたち、生態系のつらなりの
不可思議ですばらしい真実をときあかす珠玉の長篇

彼女の作品は、アメリカ、ロシア、ヨーロッパ諸国を中心に翻訳され、活躍の場は国内に留まらず世界に広がっている。夢と現実のあわいに揺れるもろもろの世界を叙情的に繋ぎ、生きとし生けるものたちへの温かいまなざしを忘れず、存在することの意味と可能性を問いつづけている。

彼女の作品と出会い、その深さに触れ、わたしの情熱は駆動した。

その情熱ゆえに今のわたしが、その情熱こそがわたしを導いてくれているのだと思う。……………末延弘子

四六上製 予256頁 予価2520円 ISBN978-4-7948-0753-3

★クルーン邦訳既刊ほか 是非併売をお願い致します！☎ 詳細は裏面をご覧ください

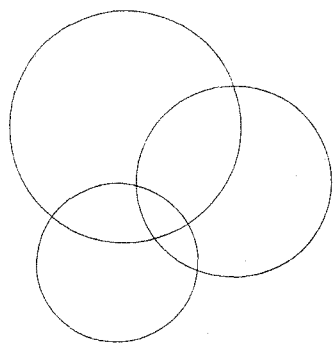
★ご予約・ご注文はFAXで：03-3202-5832

貴店番線印	●邦訳第4弾・最新刊	冊数
	蜜蜂の館	
	●クルーン本邦初訳 ウンブラ／タイナロン	
	●珠玉の短編集 木々は八月に何をするのか	
	●富山太佳夫氏絶賛！（毎日新聞）ペレート・ムンドウス	
	●世界的ベストセラー マイホーム	

株式会社 新評論

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 3-16-28 TEL:03-3202-7391 FAX:03-3202-5832

e-mail:sales@shinhyoron.co.jp



既刊案内

レーナ・クルーンの世界

ウンブラ／タイナロン

無限の可能性を秘めた二つの物語

幻想と現実の接点を類い希な表現で描く、現代フィンランド文学の金字塔。

レーナ・クルーンの代表作にして 本邦初訳！

[四六上製 284頁 2625円 ISBN4-7948-0575-6]



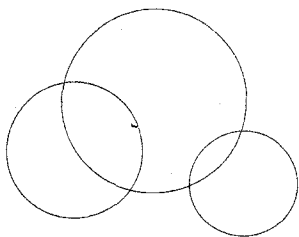
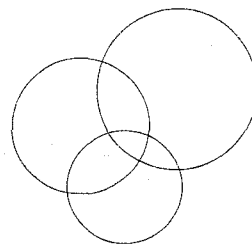
木々は八月に何をするのか

大人になっていない人たちへの七つの物語

植物は人間と同じように名前と個性と意思をもっている…。

詩情あふれる言葉で幻想と現実をつなぐ珠玉の短篇集。

[四六上製 228頁 2100円 ISBN4-7948-0617-5]



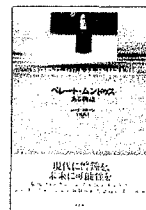
ペレート・ムンドウス

ある物語

鋭い文明批判と諷刺に富む警鐘の書。

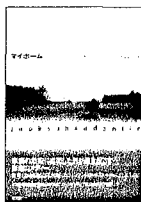
富山太佳夫氏絶賛！「こんなに素晴らしい作品は久し振りだ」（毎日新聞 06/2/5）

[四六上製 286頁 2625円 ISBN4-7948-0672-8]



☞ 世界12か国語に翻訳されたベストセラー 日本上陸！ ☞

カリ・ホタカイネン／末延弘子 訳



マイホーム

「わが家」とは「持ち家」とは一体何なのか？

家庭の一大危機に直面した男が巻き起こす、おかしくも悲しい“悲劇コメディ”！

[四六上製 372頁 2940円 ISBN4-7948-0649-3]

レーナ・クルーン (Leena KROHN) 1947年、ヘルシンキに生まれる。現代フィンランド文学を代表する作家。哲学、心理学、文学、美術史への深い造詣をもつ。大学、図書館などで精力的に講演を行うほか、絵本、児童書、小説、エッセーと幅広く執筆活動を展開している。フィンランディア賞やトベリウス賞を始め、フィンランドの芸術家に贈られる最高位勲章プロフィンランディアメダル（ただし、同年にスハルト政権下時代の森林大臣にフィンランド獅子勲章コマンダー章が授与されたことに抗議し、画家マルヤッタ・ハンヒヨキと共にメダルを返還）など数々の賞を受賞。その作品はアメリカ、ロシア、ヨーロッパ諸国を中心に海外に翻訳され、『タイナロン』はアメリカでワールドファンタジー賞候補作に選ばれた。夢と現実のあわいに揺れるもろもろの世界を叙情的に緊ぎ、生きとし生けるものたちへの温かいまなざしを忘れず、存在することの意味と可能性を問い続ける。代表作に、『タイナロン』、『ウンブラ』、『数学的な生物たち、もしくは、分かれた夢』、『ペレート・ムンドウス』、『スフィンクスか、ロボットか』、『木々は八月に何をするのか』、『ダチュラ』、『夢死』など多数。フィンランド在住。(http://www.kaapeli.fi/krohn/)